



平成28年度 長沢中学校 学校評価報告

平成 29年 3月
学校長 吉川 和良

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化 ④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

<評価アンケート実施対象者と回収率>

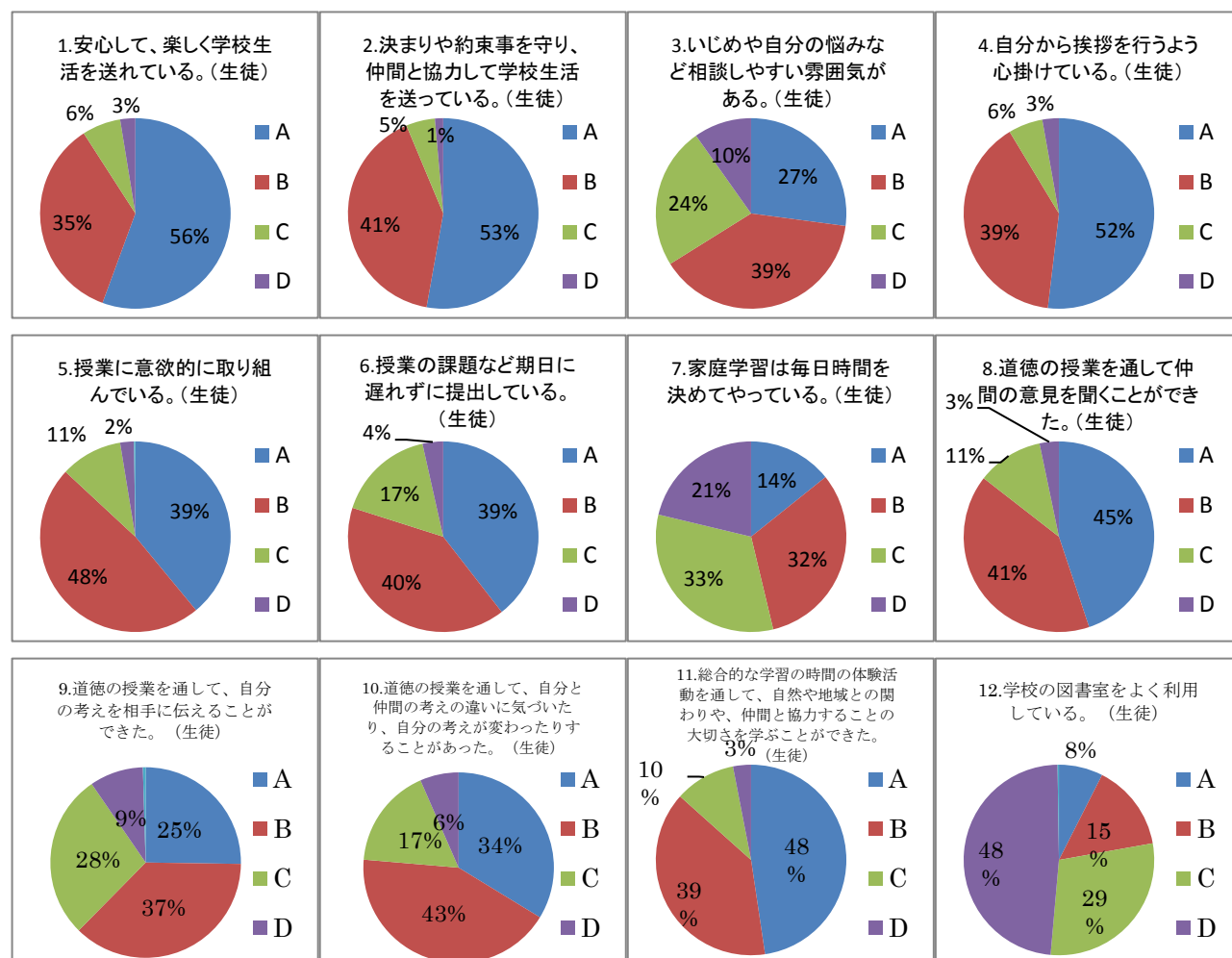
生徒による評価の回答数

1年生	142名 (在籍145名)	97.9%
2年生	141名 (在籍146名)	96.5%
3年生	124名 (在籍130名)	95.3%
5・6組	18名 (在籍18名)	100%
回答数	425名 (在籍439名)	96.8%

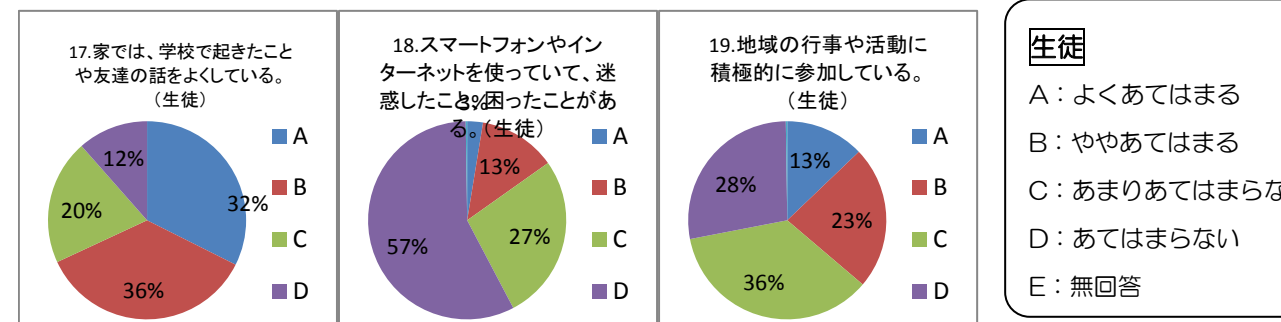
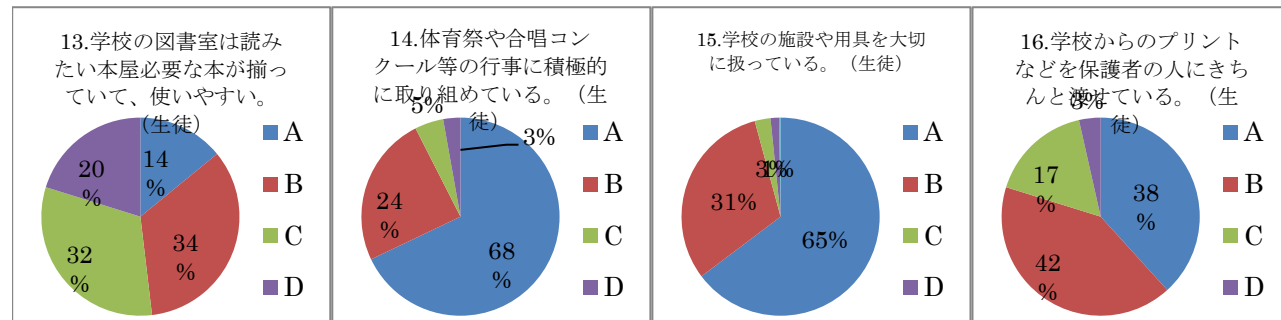
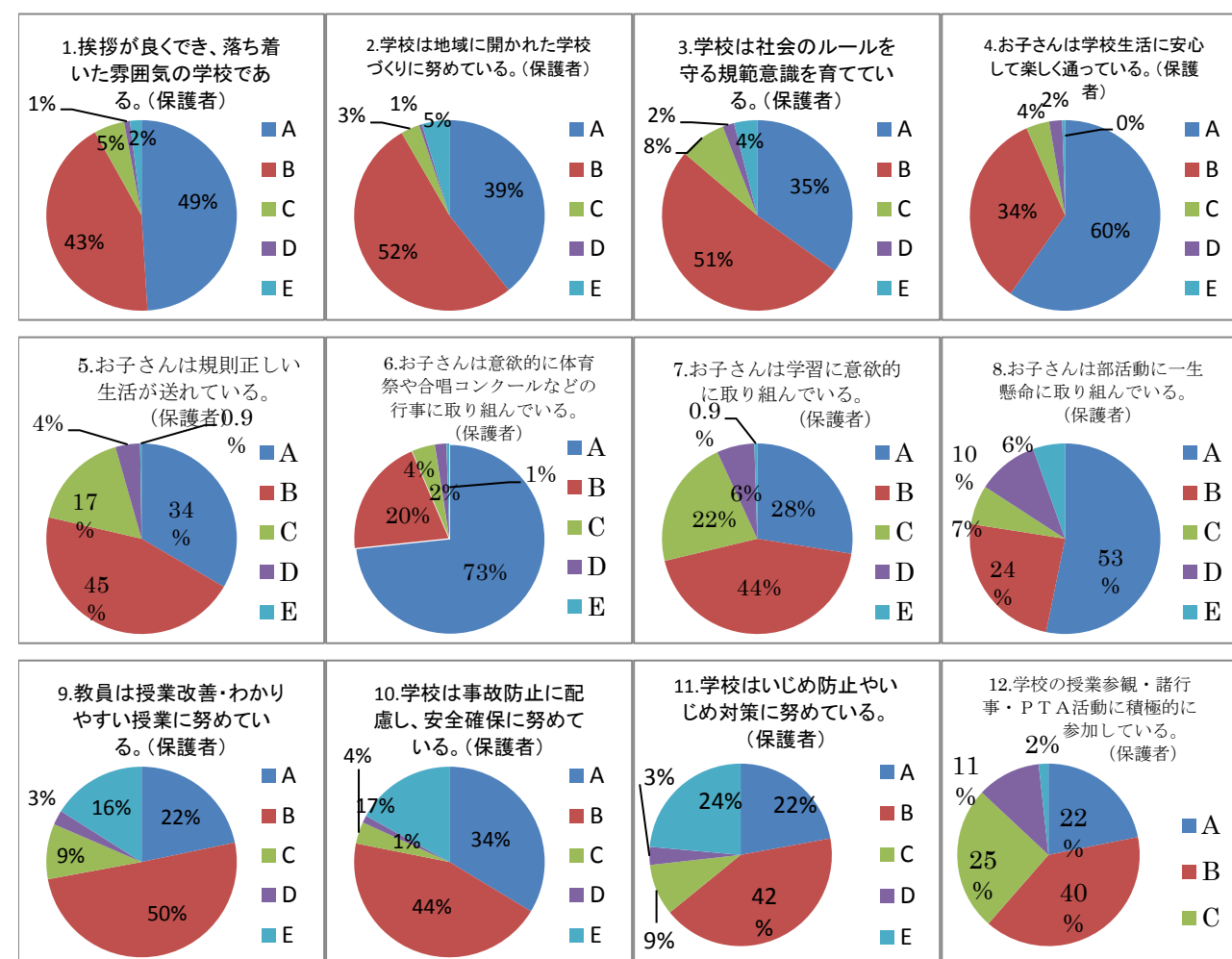
保護者による評価の回答数

1年生	135名 (在籍145名)	93.1%
2年生	140名 (在籍146名)	95.8%
3年生	116名 (在籍130名)	89.2%
5・6組	16名 (在籍18名)	88.8%
回答数	407名 (在籍439名)	92.7%

<生徒用アンケート集計結果>



<保護者用アンケート集計結果>



生徒
 A：よくあてはまる
 B：ややあてはまる
 C：あまりあてはまらない
 D：あてはまらない
 E：無回答

保護者
 A：よくあてはまる B：ややあてはまる
 C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
 E：判断できない F：無回答

< 分析 >

【学校長より】

昨年度と同様、肯定的な回答が多く概ね良好な結果になりました。特に「学校行事」に向けて生徒は積極的に取り組み、保護者の方からも高い評価を得ています。反面、「家庭学習の取り組み」、「図書館の活用」、「地域行事への参加」については課題を残しています。中でも、学習面については、授業での生徒の様子や保護者・地域の方々の関心の高さから、伸びしろが十分にあると考えています。次年度、授業の充実に向けた研修はもとより、学習に主体的に取り組む指導に力を入れていきます。家庭でのご指導もお願いします。

【教務】

- * 体育祭や合唱コンクール等の「学校行事」への参加状況は、『意欲的』と答えている生徒は92%、保護者93%がそう回答しています。この数字は、毎年増えており、多くの生徒が前向きに行事に取り組んでおり、充実感を感じています。(→生徒アンケート14・保護者アンケート6)
- * しかし、「地域の行事や活動」への参加状況は、『積極的』と答えている生徒は36%(昨年度から-7%)と高いとは言えません。(→生徒アンケート19) 本校では、多くの生徒が部活動に意欲的に取り組んでいます。(→保護者アンケート8) そのため、逆に地域の活動に参加する機会が減少しているのではと考えられます。中学生には災害時には大きな力になって欲しいと願っています。そのためにも、「ちょボラ」(生徒会ボランティア活動)への参加など、普段から地域の行事や活動へ意欲的に関わり、より強い絆を作っていけるよう、呼びかけを続ける必要があります。
- * 「学校行事」(授業参観・行事・PTA活動など)への保護者の参加意識は高く、毎回多くの保護者が学校へいらしてくださっています。これからも、保護者のご理解とご協力を得て、豊かな教育を提供できるよう努力を続けます。(→保護者アンケート12)

【学習】

- * 家庭学習の定着について、依然として課題があります。具体的な努力目標を示し、成果が表れる取り組みを教科として工夫できるよう、次年度は学校全体で研修していきます。また、日常的に家庭学習へのアドバイスを伝え、何を勉強すればよいのかがわからない生徒をなくし、家庭学習習慣へとつなげていけるよう努力します。
- * 図書室の利用については、使いやすさは少し改善されているようですが、利用者については固定化しています。読書活動に加え、調べ学習や学習活動の場としても利用の幅が広がるよう努力をします。
- * 課題提出については学年や教科で確実な提出に向けて努力をしています。事前の声掛けをするとともに、期日を守ることや提出することの重要性を意識できるよう家庭と協力しながら取り組みます。
- * 授業改善については、生徒の意欲を大切にしながら、さらに自分の考えを伝えたり、他の考えを聞いて考えを深められるようなグループ活動を取り入れ、学びあいを大切にしていきます。

< 学校教育目標 >

自己を高め、他を思いやり、自立できる生徒を育てる

【生活】

- * 教職員は地域に開かれた学校づくりに努めるとともに、地域や各家庭の協力を得ながら、生徒が各行事や部活動など意欲的に参加し、安心して楽しく学校生活を送れるよう常に努力していきます。
- * 今後も、「道徳」や「学活」等あらゆる場面において、お互いに尊重しあえる心を育て、生徒の安全を確保しつつ、社会のルールやマナーの大切さを導くとともに、規範意識を育てられるよう努力を続けていきます。
- * 「生活アンケート」や「校内巡視(生徒観察)・「二者面談」等いじめ防止に努めるだけでなく、地域や保護者との情報交換を大切にしながら、生徒一人ひとりの、細部にわたり目や気が届くよう、教職員全員が全力で取り組めるように努力します。
- * 近年「スマートフォン」や「インターネット」の使用時間が増加していることで、家庭学習が定着していない傾向があるので、使用方法や使用時間の制限など各家庭への協力をお願いするとともに、生徒への働きかけをおこなっていきます。

【支援】

- * 「2. 決まりや約束事を守り、仲間と協力して学校生活を送っている」と回答した生徒が94%にも及んでおり、それが「1. 安心して楽しく学校生活を送れている」と回答した生徒が90%を超える結果にもつながっているのではないかと考えられます。しかし、「3. いじめや自分の悩みなど相談しやすい雰囲気がある」では、34%の生徒が否定的な回答であることから、相談しやすい雰囲気づくりは支援教育の課題であると捉えています。生徒との信頼関係を築いていけるよう努めること。担任以外でも相談しやすい相手に相談できる人間関係づくりを教職員の今後の課題としていきたいと考えています。個々の状況に応じて、相談員やSC、関係諸機関との連携を大切にしながら、支援教育を推進していきたいと考えています。
- * 「5. 授業に意欲的に取り組んでいる」、「6. 授業の課題など期日に遅れずに提出している」の結果から、学習に対し意欲はあるが、提出物を期日までに提出できず困り感のある生徒がいると推測できます。課題の内容が理解できない、課題の進め方がわからない等、個別のサポートが必要な生徒に対する学習支援の充実を図っていきたいと考えています。

【管理】

- * 事故防止・安全確保のために、素早く対応・修繕を行っています。しかし学校の立地や構造上、危険な所があるので、生活の仕方について考えさせる指導を続けます。(→保護者アンケート10)
- * 「防災教育」向上のために、「避難訓練」を実施し、生徒も意識を持って取り組みました。しかし、28年度は日程の関係で「町内会別集団下校」を行いませんでした。地域の活動にあまり積極的ではない生徒が多く、(→生徒アンケート19) 昨年より少しではありますが参加に積極的な生徒が減っています。町内の方々との顔合わせは、「地域との連携」のために特に大切と考えます。
- * 生徒たちは、学校の施設や用具を大切に使っているという意識が高く、(→生徒アンケート15) 今年度、破損等はさらに減少しました。物を大切にする意識を高めるよう、今後も取り組みます。